

製品名: カテプシン S ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87251**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:38 kDa; Observed MW:25 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cathepsin S
別名	CTSS
遺伝子 ID	1520
SwissProt ID	P25774
免疫原	ヒトカテプシン S の合成ペプチド

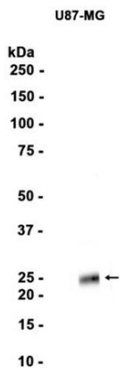
背景

この遺伝子によってコードされるプレプロタンパク質はペプチダーゼ C1 ファミリーに属し、抗原タンパク質を MHC クラス II 分子上

に提示するためのペプチドへと分解するリソソームシステインプロテアーゼである。成熟タンパク質は、エンドリソソーム区画において MHC クラス II 分子の不変鎖を切断し、抗原-MHC クラス II 複合体の形成と、MHC-II による細胞外抗原ペプチドの適切な提示を可能にする。成熟タンパク質は、広い pH 範囲でエラスターゼとしても機能する。細胞から分泌されると、このタンパク質はエラスチン、コラーゲン、フィブロネクチンといった細胞外マトリックスの構成要素をリモデリングすることができる。この遺伝子は多くの炎症性疾患および自己免疫疾患の病態に関与しており、そのエラスターゼ活性から、一部の肺疾患において重要な役割を果たしている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見出されている。 [RefSeq 提供、2020 年 5 月]

研究分野

画像データ



カテプシン S ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した U87-MG 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。